

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	こどもヶ丘保育園根岸園
活動日時	令和7年7月3日
クラス名(年齢)	きりん組(4歳児)・らいおん組(5歳児)
年間テーマ	色

### 1.活動テーマ

〈テーマ〉

色の三原色を知る。

〈テーマの設定理由(子どもの姿)〉

前回の活動後、子ども達から「またやりたい。」との声が上がった。色の変化に興味を持つ子どもが多くいたので、前回と同じ内容を準備する。

### 2.活動スケジュール

・18名参加、3～5名の4グループに分け、15分ずつ遊ぶ。

### 3.環境をデザインする




色の変化がわかりやすいように、透明のプラカップを準備する。水道の近くに机を準備し、カップの水をすぐに流せるようにする。子どもの探求心が深まるよう、繰り返し色の変化を試せるようにする。

### 4.探求活動の実践

〈活動内容〉

一人一つのプラカップを持ち、色水を自由にプラカップに入れて遊ぶ。カップの中がいっぱいになったら水道に流し、再び色水を作って遊ぶ。今回は、色の三原色を理解している子どものチームと理解していない子どものチームに分けて行なった。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

子どもの言葉・姿	写真
<p>Aグループ(三原色を完全に理解している4歳児女児3名、5歳児女児2名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5歳児2人が同じ色を作ることができたことをきっかけに5名全員で同じ色を作って遊ぶ。三原色を理解している為、どうやって作るかなどの会話はなく、色水の分量を調整しながら同じ色を作っていた。</li> </ul> <p>Bグループ(三原色を完全に理解している5歳児男児5名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者が少なくなった白の色水を作って補充していると、「これ、絵の具で作っていたんだね。」と驚く。何でできているのか聞いかけると、「みんながミルクシロップって言ってたから、ミルクだと思っていた。」と答える。</li> <li>・色水に水を入れ薄めて遊ぶ姿が見られ始める。色が薄くなり、透明度が増すと「ゼリーみたいだね。」と他児も真似をして遊ぶ。</li> </ul> <p>Cグループ(三原色を少し理解している4歳児男児5名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オレンジ色が好きな子どもは、繰り返しオレンジ色を作り喜んでいった。</li> </ul> <p>Dグループ(三原色を理解していない4歳児3名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回に引き続き、紫色を作り「先生の好きな色だよ。」と知らせに来る。保育者が「何色か知っている?」と聞いかけると「わからない。」と答える。紫の作り方を覚えた様子だった。</li> </ul>	  

### 5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

前回の活動の反省から、今回は三原色の理解度に合わせたグループに分けた。前回と同様の活動内容だったが、グループを変更したことで子どもたちが新たな発見をする姿が見られたので良かった。水を入れて色水を薄める遊びから、ゼリーという発想で遊びの展開が見られた。今後は試しにゼラチンや寒天を準備し、子ども達に問いかけてみたいと感じた。